

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和5年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者0人、重傷者5人、軽傷者27人

(2) 住家被害

全壊1棟、半壊0棟、一部破損1棟、床上浸水16棟、床下浸水123棟

第1表 令和5年中の災害発生状況

発生年月日		災害名		落雷	大雪	融雪	大雨	大雪	計
区分				1月24日	1/26~2/6	3/12~3/13	6/28~7/13	12/22~12/23	
人的被害	負傷者	重傷	人		5				5
		軽傷	人		21			6	27
住家被害	全壊		棟				1		1
	半壊		棟						0
	一部破損		棟				1	2	3
	床上浸水		棟				16		16
	床下浸水		棟				123		123
非住家	公共建物		棟				1		1
	その他		棟				1		1
その他	田	流失・埋没	ha				20.95		20.95
	道路		箇所			1	98		99
	橋りょう		箇所			1			1
	河川		箇所		1	1	66		68
発生年月日		災害名		落雷	大雪	融雪	大雨	大雪	計
区分				1月24日	1/26~2/6	3/12~3/13	6/28~7/13	12/22~12/23	
その他	砂防		箇所			1	25		26
	水道		戸						0
その他	農業用施設		箇所				78		78
	林道		箇所				47		47
	水産業施設		箇所						0
	上下水道		箇所				1		1
	山腹施設		箇所				2		2
	法面崩壊		箇所				3		3
	ダム小放流ゲート		箇所						0
	牧場放牧地法面		箇所						0
り災世帯数		世帯					16		16
り災者数		人					40		40
農林水産業施設		千円					464,567		464,567
公共土木施設		千円		11,790		2,534,578	8,517,265		11,063,633
その他の公共施設		千円					9,360		9,360
公共施設被害市町村数		団体					5		5
その他被害		千円					4,727		4,727
被害総額		千円		11,790		2,534,578	8,995,919		11,542,287
都道府県	設置								/
災害対策本部	解散								
災害対策本部設置市町							4		4
災害救助法適用市町									0
消防職員出動延人数		人			94		239	41	374
消防団員出動延人数		人					414	4	418

2 過去5年間の災害発生状況（平成31年～令和5年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間水量(15日～16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東)19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北)21時01分 敦賀 20.0m/s(北西)20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廬 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分

年月日	種類	被害状況	気象状況
			(日降水量) 春江 125.5mm 14日 越廼 111.0mm 14日 三国 108.5mm 14日 勝山 105.0mm 14日 福井 103.5mm 14日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407千円	梅雨前線の影響により28日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28日 02時13分 福井 36.5mm 28日 02時40分 美山 36.0mm 28日 03時23分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28日 福井 78.5mm 28日 美山 57.5mm 28日
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8日 03時42分 敦賀 26.5mm 8日 05時07分 今庄 19.5mm 8日 05時30分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8日 敦賀 53.0mm 8日 今庄 53.0mm 8日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11日 05時16分 春江 19.5mm 11日 06時39分 美山 19.0mm 11日 05時47分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13日 勝山 51.0mm 13日 春江 42.5mm 11日 今庄 42.5mm 13日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13人	福井県嶺北を震源とする地震 9月4日 09時10分 M5.0 深さ7km 北緯 36度06.9分 東経 136度11.3分 震度5弱 坂井市 震度4 福井市、あわら市 震度3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日
2020 (令2) 12.31～ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日
2021 (令3) 1.2～ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8人 重傷 17人 軽傷 77人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 1棟 一部破損 192棟 床上浸水 2棟 床下浸水 14棟 (3)非住家被害 その他 12棟 (4)その他 道路 2箇所 (5)その他 河川 1箇所 (6)公共土木施設被害 589,051千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、坂井市、永平寺町	1月8日から1月9日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1月9日 武生 32cm 1月8日 大野 63cm 1月8日 九頭竜 52cm 2月17日 今庄 39cm 1月10日 敦賀 23cm 2月18日 小浜 4cm 1月29日、2月9日 (最深積雪) 福井 107cm 1月9日 武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 7.6～ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日 大飯 45.5mm 7日
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 20,643千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15日16時11分 美浜 9.0mm 15日19時27分 大飯 6.5mm 15日15時14分 (日降水量) 武生 18.0mm 15日 美浜 9.0mm 15日 大飯 9.0mm 15日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 47棟 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 71箇所 (7)その他 河川 41箇所 (8)その他 砂防 25箇所 (9)その他 水道 170戸 (10)農林水産業施設被害 94,219千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177千円 (12)その他被害 4,362千円	29日は、台風第8号から変わった日本海の低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入し、また、東日本上空約6000メートルの氷点下6度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。このため、大気の状態が非常に不安定となり、福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29日06時17分 越廼 34.0mm 29日08時12分 美山 25.5mm 29日01時51分 (日降水量) 福井 107.0mm 29日 越廼 91.5mm 29日 春江 60.0mm 29日
2021 (令3) 8.9	台風 9号	(1)人的被害 軽傷 1人	台風第9号は、8日午後8時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9日9時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9日21時04分 小浜 15.5mm 9日5時18分 (日降水量) 武生 54.0mm 9日 美山 46.5mm 9日

年月日	種類	被害状況	気象状況
			(日最大風速(9日)) 三国 16.3m/s(南) 15時11分 福井 14.8m/s(南南西)18時20分 春江 14.4m/s(南) 17時20分 (日最大瞬間風速(9日)) 三国 30.2m/s(南) 18時16分 福井 27.2m/s(南南西)17時44分 春江 23.7m/s(南南西)18時23分 越廼 23.7m/s(南) 17時39分
2021 (令3) 8.14	大雨	(1)その他 道路 1箇所 (2)その他 河川 5箇所 (3)その他 砂防 4箇所 (4)公共土木施設被害 145,906千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14日06時47分 武生 28.0mm 14日06時53分 大飯 23.5mm 14日06時48分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14日 武生 91.5mm 14日 小浜 86.5mm 14日
2021 (令3) 12.18~ 12.28	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月25日 武生 19cm 12月26日、12月27日 大野 28cm 12月19日 九頭竜 36cm 12月27日 今庄 28cm 12月18日 敦賀 16cm 12月27日 小浜 34cm 12月26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月27日 武生 35cm 12月27日 大野 46cm 12月28日 九頭竜 57cm 12月27日、12月28日 今庄 41cm 12月27日 敦賀 26cm 12月27日 小浜 47cm 12月27日
2022 (令和4) 1.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	日本付近は、冬型の気圧配置となっている。北陸地方の上空約5500メートルに、氷点下36度以下の強い寒気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり嶺北の山地を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値(20日)) 九頭竜 43cm 大野 43cm 今庄 30cm 武生 22cm 福井 14cm 敦賀 4cm 小浜 3cm

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			(最深積雪最大値(20日)) 九頭竜 151cm 大野 99cm 今庄 72cm 武生 30cm 福井 28cm 小浜 5cm 敦賀 4cm
2022 (令和4) 2.16～ 2.17	大雪	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 1人 (2)公共土木施設被害 19,795千円	日本海の低気圧や寒気の影響で日本海側を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値) 福井 18cm 2月16日 武生 17cm 2月16日 大野 56cm 2月16日 九頭竜 49cm 2月16日 今庄 19cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日 (最深積雪最大値) 福井 25cm 2月17日 武生 24cm 2月17日 大野 124cm 2月17日 九頭竜 198cm 2月17日 今庄 80cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日
2022 (令和4) 3.26	暴風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 一部破損 2棟	日本海の低気圧が発達したため、日本海側を中心に広範囲で南よりの暴風となった。 (日最大風速) 敦賀 18.2m/s(南南東)14時35分 三国 17.5m/s(南南東)15時40分 (日最大瞬間風速) 美浜 29.8m/s(東南東)14時16分 敦賀 29.7m/s(南東)14時21分
2022 (令和4) 7.3	大雨	(1)公共土木施設被害 24,305千円	気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となった。 <日最大1時間降水量> 福井 70.0mm 3日 19時36分 勝山 40.5mm 3日 20時29分 美山 35.0mm 3日 19時41分 大野 33.5mm 3日 20時17分 <日降水量> 福井 102.5mm 勝山 63.0mm 大野 53.0mm 武生 49.0mm

年月日	種類	被害状況	気象状況
2022 (令和4) 8.4～ 8.5	大雨 【福井 県災害 対策本 部設置】	(1)住家被害 全壊 8棟 半壊 70棟 一部破損 1棟 床上浸水 85棟 床下浸水 184棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)農林水産業施設被害 305,000千円 (4)公共土木施設被害 6,148,801千円 (5)その他被害 2,000千円 (6)災害対策本部設置市町村 敦賀市、勝山市、大野市、鯖江市、 越前市、南越前町、越前町	8月4日から5日は、日本海から北陸地方を 通って日本の東にのびる前線がゆっくり南下 した。日本の南に中心を持つ高気圧の縁をま わる暖かく湿った空気が前線に向かって流れ 込んだ影響や、上空の寒気の影響で大気の状態 が不安定となった。4日昼前には奥越で猛烈 な雨が降り、激しい雨が同じ場所で降り続い たことから「線状降水帯」が発生した。5日明 け方から朝にかけて嶺北南部や嶺南東部に 次々と発達した積乱雲が流れ込み、断続的に 猛烈な雨が降り記録的な大雨を観測した。 <日最大1時間降水量> 今庄 74.0mm 5日 09時13分 美浜 66.0mm 5日 06時58分 九頭竜 65.5mm 4日 07時31分 勝山 56.0mm 4日 09時27分 大野 56.0mm 4日 09時17分 <期間降水量(3日～5日)> 今庄 426.0mm 武生 233.5mm 大野 219.5mm 九頭竜 206.5mm 福井 189.0mm 美山 186.0mm 勝山 182.0mm
2022 (令和4) 12.23～ 12.24	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月23日から24日にかけて、上空の強い 寒気が南下し冬型の気圧配置が強まった。 JPCZ が嶺北を南下したため、23日夜から 24 日明け方にかけて、断続的に活動が活発な雪 雲が流れ込み、奥越を中心に大雪を観測した。 (日降雪量最大値) 福井 14cm 12月23日 武生 11cm 12月23日 大野 28cm 12月23日 九頭竜 29cm 12月24日 今庄 11cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日 (最深積雪最大値) 福井 20cm 12月24日 武生 9cm 12月24日 大野 64cm 12月24日 九頭竜 87cm 12月24日 今庄 33cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日
2023 (令和5) 1.27～ 1.30	大雪	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 17人 (2)住家被害 一部破損 1棟	1月27日から30日にかけて冬型の気圧配置 が続くなか、同じ地域に次々と発達した雪雲 が流れ込み、28日未明には嶺南西部、28日 夜遅くには嶺南東部、29日夜にかけて嶺北で、 3時間降雪量が10-15センチを観測し、短時間 に降雪が強まった。特に、嶺南東部では、28 日昼過ぎから強い降雪が続き、夜遅くには若

年月日	種類	被害状況	気象状況																																							
			<p>狭湾から嶺南東部にかけて JPCZ が出現し降雪がさらに強まった。このため、29 日未明には山地で警報基準を上回る大雪を観測し、幹線道路では通行止めが発生した。</p> <p>(日降雪量最大値)</p> <table> <tr><td>福井</td><td>25cm</td><td>1月28日</td></tr> <tr><td>武生</td><td>26cm</td><td>1月28日</td></tr> <tr><td>大野</td><td>30cm</td><td>1月29日</td></tr> <tr><td>九頭竜</td><td>23cm</td><td>1月30日</td></tr> <tr><td>今庄</td><td>24cm</td><td>1月30日</td></tr> <tr><td>小浜</td><td>19cm</td><td>1月28日</td></tr> <tr><td>敦賀</td><td>25cm</td><td>1月28日</td></tr> </table> <p>(最深積雪最大値)</p> <table> <tr><td>福井</td><td>61cm</td><td>1月29日</td></tr> <tr><td>大野</td><td>93cm</td><td>1月30日</td></tr> <tr><td>九頭竜</td><td>139cm</td><td>1月30日</td></tr> <tr><td>今庄</td><td>59cm</td><td>1月30日</td></tr> <tr><td>小浜</td><td>32cm</td><td>1月28日</td></tr> <tr><td>敦賀</td><td>37cm</td><td>1月29日</td></tr> </table>	福井	25cm	1月28日	武生	26cm	1月28日	大野	30cm	1月29日	九頭竜	23cm	1月30日	今庄	24cm	1月30日	小浜	19cm	1月28日	敦賀	25cm	1月28日	福井	61cm	1月29日	大野	93cm	1月30日	九頭竜	139cm	1月30日	今庄	59cm	1月30日	小浜	32cm	1月28日	敦賀	37cm	1月29日
福井	25cm	1月28日																																								
武生	26cm	1月28日																																								
大野	30cm	1月29日																																								
九頭竜	23cm	1月30日																																								
今庄	24cm	1月30日																																								
小浜	19cm	1月28日																																								
敦賀	25cm	1月28日																																								
福井	61cm	1月29日																																								
大野	93cm	1月30日																																								
九頭竜	139cm	1月30日																																								
今庄	59cm	1月30日																																								
小浜	32cm	1月28日																																								
敦賀	37cm	1月29日																																								
2023 (令和5) 6.28～ 6.29	大雨	(1)公共土木施設被害 118,876 千円	<p>6 月 28 日から 29 日は、暖かく湿った空気や上空の寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となった。このため、29 日未明から明け方にかけて嶺北南部や嶺南東部で非常に激しい雨が降った所があった。</p> <p><日最大1時間降水量></p> <table> <tr><td>今庄</td><td>59.0mm</td><td>29日</td><td>02時59分</td></tr> <tr><td>敦賀</td><td>52.5mm</td><td>29日</td><td>03時42分</td></tr> <tr><td>武生</td><td>22.5mm</td><td>29日</td><td>01時50分</td></tr> <tr><td>越廼</td><td>20.5mm</td><td>28日</td><td>23時33分</td></tr> </table> <p><期間降水量(28日～29日)></p> <table> <tr><td>今庄</td><td>147.5mm</td></tr> <tr><td>敦賀</td><td>136.5mm</td></tr> <tr><td>武生</td><td>80.5mm</td></tr> <tr><td>越廼</td><td>64.5mm</td></tr> </table>	今庄	59.0mm	29日	02時59分	敦賀	52.5mm	29日	03時42分	武生	22.5mm	29日	01時50分	越廼	20.5mm	28日	23時33分	今庄	147.5mm	敦賀	136.5mm	武生	80.5mm	越廼	64.5mm															
今庄	59.0mm	29日	02時59分																																							
敦賀	52.5mm	29日	03時42分																																							
武生	22.5mm	29日	01時50分																																							
越廼	20.5mm	28日	23時33分																																							
今庄	147.5mm																																									
敦賀	136.5mm																																									
武生	80.5mm																																									
越廼	64.5mm																																									
2023 (令和5) 7.12～ 7.13	大雨	<p>(1)住家被害 全壊 1棟 一部破損 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 133棟</p> <p>(2)非住家被害 その他 1棟</p> <p>(3)農林水産業施設被害 747,661 千円</p> <p>(4)公共土木施設被害 2,107,672 千円</p> <p>(5)その他の公共施設被害 7,824 千円</p> <p>(6)その他被害 6,189 千円</p>	<p>日本海にのびる梅雨前線が、12 日から 13 日にかけて北陸地方をゆっくり南下し、福井県付近に停滞した。この前線に向かって太平洋高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が流入した。また、北陸地方の上空に寒気が流れ込んだ影響もあり、大気の状態が非常に不安定となった。特に 13 日未明から朝にかけては嶺北や嶺南東部で雷を伴って非常に激しい雨が降り、アメダス三国と越廼では日最大1時間降水量が観測史上1位の値を更新する大雨となった。この大雨の影響により、嶺北を中心に土砂災害や浸水害などが発生した。また、道路の通行止めや交通機関の運休などライフラインへの大きな影響があった。</p>																																							

年月日	種類	被害状況	気象状況
			<p><日最大1時間降水量></p> <p>越廼 69.0mm 13日 04時54分 三国 66.0mm 13日 01時19分 大野 49.0mm 13日 05時38分 福井 47.5mm 13日 04時46分 武生 44.5mm 13日 05時33分 勝山 44.0mm 13日 05時15分</p> <p><期間降水量(12日~13日)></p> <p>三国 159.5mm 越廼 142.0mm 美山 135.5mm 勝山 132.5mm 大野 131.5mm 武生 121.0mm 福井 118.5mm</p>
2023 (令和5) 12.21~ 12.22	大雪	(1)人的被害 軽傷 6人 (2)住家被害 一部破損 2棟	<p>12月21日から23日にかけては上空に強い寒気が入り冬型の気圧配置が強まった。特に21日夜から22日朝にかけては、海上からのびる発達した雪雲(JPCZ:日本海寒帯気団収束帯)により断続的に強い降雪となり、嶺北北部と奥越を中心に大雪となった。また、22日夕方から23日朝にかけては嶺北南部から嶺南東部にかけても降雪が強まり、大雪となった。</p> <p>(日降雪量最大値)</p> <p>福井 28cm 12月22日 武生 26cm 12月22日 大野 55cm 12月22日 九頭竜 53cm 12月22日 今庄 26cm 12月23日 敦賀 23cm 12月23日</p> <p>(最深積雪最大値)</p> <p>福井 38cm 12月23日 武生 21cm 12月23日 大野 61cm 12月23日 九頭竜 77cm 12月22日 今庄 41cm 12月23日 敦賀 29cm 12月23日</p>

第2章 令和5年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年(1月～12月)の概況

冬

1月は上旬と下旬に寒気の影響を受けて雨や雪の日が多く、中旬は高気圧に覆われて晴れ、暖かい空気に覆われて寒暖の差が大きくなった。2月は冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の影響が少なく、嶺南を中心に気温の高い日が多くなった。

春

3月～5月は、寒気の影響を受けにくかったことや、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、天気は数日の周期で変化した。

夏

6月～7月は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、前線の活動が活発となり、大雨となった日があった。7月下旬から8月は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、南から暖かい空気が流れ込みフェーン現象も発生した。その結果、8月は月平均気温が越廼を除いて統計開始以来1位となる記録的な高温となった。

秋

9月は、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったことや、暖かい空気に覆われやすかったため残暑が厳しく、月平均気温が全ての地点で統計開始以来1位となる記録的な高温となった。10月～11月は暖かい空気や寒気の影響で寒暖の差が大きくなり、低気圧や前線の影響で大雨となった日があった。

冬

12月は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、下旬は強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (°C)	平年差 (°C)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	16.2	1.4	かなり高い	2498.0	109	平年並	1955.5	118	かなり多い
敦賀	16.9	1.3	かなり高い	2417.5	110	多い	1906.2	119	かなり多い

※平年差(比)は、平年値(1991年～2020年の30年平均値)から求めています。

◇ 梅雨入り・明け

梅雨入り		梅雨明け	
令和5年(注1)	平年	令和5年(注1)	平年
6月9日ごろ(0)	6月11日ごろ	7月21日ごろ(0)	7月23日ごろ

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年より少ない17個(平年値25.1個)となり、日本への接近数は平年より少ない9個(平年値11.7個)、上陸数は1個(平年値3.0個)。北陸地方への接近数は2個(平年値2.8個)となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生				1	1	1	3	6	2	2		1	17	25.1
上陸(注1)								1					1	3.0
北陸地方に接近した台風								1	1				2	2.8

(注1) 「上陸」は台風が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指します。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

※接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

2 月別気象概況

◇ 2023年 月別気象概況

1月

今期間は、はじめと終わりは冬型の気圧配置や寒気の影響で雨や雪の日が多くなった。中頃は高気圧に覆われて晴れた日もあった。また、中旬は暖かい空気に覆われやすかった一方、下旬は強い寒気の影響を受けやすかったため、気温の変動が大きくなった。

平均気温は、福井、春江で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、九頭竜で平年よりかなり少なく、勝山、大野、美山、今庄で平年より少なく、三国、福井、武生、敦賀で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、敦賀で平年より少なく、三国、越廼、勝山で多く、その他の地点では平年並となった。

2月

高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変化した。なお、冬型の気圧配置は長続きせず、平均気温は嶺南中心に高くなった。

平均気温は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。
降水量は、春江、今庄で平年並、美山、美浜、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国、勝山、大野で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

3月

天気は数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、月の平均気温は、全ての地点で3月として最も高くなった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、越廼で平年並となり、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、全ての地点で平年よりかなり多くなった。

4月

天気は数日の周期で変化した。上旬から中旬は、暖かい空気に覆われやすく、また南からの暖かい空気が流れ込んだ影響で20日は全ての地点で夏日となった。寒気の影響で、気温の低い日もあり気温の変動が大きい月となった。

平均気温は、全ての地点で平年より高くなった。

降水量は、勝山、大野、美山、武生、小浜、大飯で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、福井、勝山、大野で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

5月

天気は数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。また、7日から8日と29日は前線や低気圧の影響で奥越を中心に大雨となった所があった。

平均気温は、三国、福井、今庄、敦賀、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大野、大飯でかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、三国、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

6月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、前線の活動が活発となり、大雨となった日もあった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、大野で平年並となり、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、九頭竜、美浜、小浜、大飯で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

日照時間は、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

7月

上旬から中旬は、北陸付近に梅雨前線が停滞した影響で曇りや雨の日が多くなった。特に12日から13日は、前線の活動が活発となり、嶺北と嶺南東部では大雨となった。また、下旬は、太

平洋高気圧に覆われて晴れた日が続いたことや暖かい空気に覆われた影響で、日最高気温35度以上の猛暑日が続いた所があった。

平均気温は、大野で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、三国、敦賀で平年より多く、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、越廼、小浜で平年より多くなり、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

8月

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすく、フェーン現象も発生したため、月平均気温が越廼を除いて統計開始以来で1位の高温となった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、九頭竜で平年より多く、敦賀、小浜で平年並となり、福井、美山、武生で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、大野で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

9月

暖かい空気に覆われたため、全ての地点で月平均気温の値が9月として統計開始以来1位の高温となった。6日は熱帯低気圧による湿った空気や前線の影響で、また、18日には上空の寒気や湿った空気の影響で大雨となった所があり、嶺北では両日とも猛烈な雨が降った。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、越廼、勝山、大野、小浜、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、全ての地点では平年並となった。

10月

天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧の影響により雨や雷雨となった日もあった。

平均気温は、三国、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、三国、春江、越廼、福井、美山、勝山、武生で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、勝山、今庄、小浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

11月

上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、中旬以降は低気圧の通過後に上空の寒気が入り大気の状態が不安定となり、荒れた天気となった日もあった。また、月を通して気温の変動が大きくなり、特に中旬は、この時期として強い寒気が入ったため、嶺北では大雨となった所があった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、小浜で平年より少なく、敦賀、大飯で平年並、越廼、福井、武生、今庄で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、大野で平年並、小浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

1 2月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で曇りや雨又は雪の降った日が多くなった。特に下旬は冬型の気圧配置が強まり、大雪となった日があった。

平均気温は、春江、勝山、大野で平年並、小浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、美浜で平年より少なく、大飯、小浜で平年よりかなり少なく、武生、大野、今庄、敦賀で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、今庄で平年並、美浜、小浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和5年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和5年10月7日（土）8時30分～12時00分

- 主訓練会場 三国体育館（坂井市三国町）
- サテライト会場 福井空港（坂井市春江町）
三国北小学校（坂井市三国町）
三国運動公園（坂井市三国町）
三国サンセットビーチ（坂井市三国町）
福井港（坂井市三国町）

3 主催

福井県、坂井市

4 想定

福井県沖を震源とする震度7の地震発生後、坂井市およびあわら市の沿岸部に最大2mの津波が到達

5 参加機関 約100機関（約1,300人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、北陸地方整備局敦賀港湾事務所、近畿地方整備局舞鶴港湾事務所、敦賀海上保安本部

(2) 自衛隊関係

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部

(3) 警察関係

福井県警察本部、坂井西警察署、中部管区警察局福井県情報通信部

(4) 消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、嶺北消防組合坂井消防団

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、敦賀医療センター、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院、福井総合病院、福井勝山総合病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、(公財)松原病院

(6) 交通運輸関係

福井県トラック協会、福井県倉庫協会、赤帽福井県軽自動車運送協同組合

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部、坂井市管工業協同組合、(株)道端組、福井県石油業協同組合

(8) 報道関係

福井放送(株)

(9) 各種関係機関

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、(株)NTTドコモ、大塚製薬(株)、(一財)北陸電

気保安協会福井地区本部、中日本高速道路株式会社金沢支社、福井県建築工業会、(有)ダイキョウコーポレーション、(公財)福井県国際交流協会、坂井市国際交流協会、(一社)福井県タクシー協会、坂井市赤十字奉仕団

(10) 他県関係

岐阜県、富山県、石川県

(11) 地元地区関係

坂井市

6 主な訓練項目

- (1) 現地合同調整所運営訓練 (被害情報の収集、情報に基づく各機関との調整)
- (2) 合同救出救助訓練 (海上自衛隊、海上保安庁、消防の連携による水難救助)
- (3) 避難所運営訓練 (LINEやマイナンバーカード等を活用した避難所受付)
- (4) 広域医療搬送訓練 (救急車およびヘリによる傷病者の搬送)
- (5) 救援物資輸送訓練 (陸海空での広域物資輸送)

令和5年度 福井県総合防災訓練 訓練項目

1 福井空港（エリアA）

No.	訓練項目
1	SCU設置運営訓練
2	広域物資搬送調整訓練
3	血液緊急輸送訓練 (岐阜県→福井空港)
4	広域物資搬送訓練 (県外→福井空港→福井埠頭株)

2 三国北小学校（エリアB）

No.	訓練項目
5	指定避難所開設運営訓練
6	住民避難訓練、避難誘導訓練
7	福祉アセスメント訓練
8	炊出し訓練
9	停電時電源応急対応訓練
10	避難所通信構築訓練
11	外国人避難訓練、外国人避難者支援訓練
12	広域物資搬送訓練 (福井埠頭株→三国北小学校)
13	要配慮者移送支援訓練 (三国北小→健康管理センター)

※その他、体験・展示あり

3 三国体育館駐車場（エリアC）

No.	訓練項目
14	現地合同調整所（陸上）設置運営訓練

15	災害情報広報訓練
16	交通規制訓練
17	吊り上げ救助訓練
18	ヘリ・ドローン・オフロードバイク等による被害状況確認および情報伝達訓練
19	架橋訓練
20	道路啓開訓練
21	土砂埋没家屋救助訓練
22	水防訓練① (排水ポンプ車)
23	水防訓練② (軽量土のう積み)
24	多数傷病者対応訓練
25	列車事故救助訓練
26	中高層建物救助訓練
27	血液緊急輸送訓練 (福井空港→三国体育館駐車場)
28	ドローンによる物資搬送訓練
29	LPガス漏洩緊急出動・応急処置訓練
30	水道管復旧訓練
31	火災防ぎょ訓練
32	各種体験・展示

4 三国運動公園陸上競技場 (エリアD)

No.	訓練項目
33	広域物資搬送訓練 (県外→三国運動公園陸上競技場)
34	広域医療搬送訓練

5 三国運動公園健康管理センター (エリアE)

No.	訓練項目
35	福祉避難所開設運営訓練
36	要配慮者避難訓練
37	保健所運営訓練
38	広域物資搬送訓練 (福井埠頭(株)→健康管理センター)
39	要配慮者移送支援訓練 (三国北小→健康管理センター)

6 三国サンセットビーチ (エリアF)

No.	訓練項目
40	現地合同調整所(海上)設置運営訓練
41	複数ドローンによる被害状況確認および映像伝送訓練
42	要救助者海面救助訓練
43	船上要救助者救出訓練
44	要救助者水中検索救助訓練

7 福井港 (エリアG)

No.	訓練項目
45	地域内輸送拠点開設運営訓練
46	広域物資搬送訓練 (県外港→福井港→福井埠頭(株))

8 その他

47	石油燃料供給訓練
----	----------

令和5年度 福井県原子力総合防災訓練 実施結果

1 目的

福井県原子力防災計画および福井県広域避難計画要綱に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施日

令和5年10月20日（金） 8：30～15：30
10月21日（土） 8：00～15：00

3 対象発電所

関西電力株式会社 高浜発電所

4 場 所

高浜町、おおい町、小浜市、若狭町の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関）	約100機関	約2,000人
（住 民）	避難訓練参加	619人
	屋内退避参加	5,100人

6 事故想定

高浜発電所1号機において、京都府北部を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

7 参加・協力機関（順不同）

（1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会 等

（2）指定地方行政機関

気象庁福井地方气象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁第八管区海上保安本部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊水陸機動団、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第1輸送隊、海上自衛隊第23飛行隊、航空自衛隊中部航空方面隊、航空自衛隊小松救難隊、自衛隊福井地方

協力本部 等

(3) 指定公共機関

日本原子力研究開発機構 等

(4) 自治体関係

福井県、京都府、滋賀県、兵庫県、関西広域連合

福井県高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、敦賀市、鯖江市、越前市、越前町

滋賀県高島市

京都府舞鶴市、綾部市

兵庫県宝塚市、三田市、猪名川町

(5) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署 等

(6) 消防関係

若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局等

(7) 学校関係

福井県教育委員会、高浜町教育委員会、おおい町教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育委員会 等

(8) 医療機関関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県薬剤師会、(公社)福井県診療放射線技師会、福井赤十字病院、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、地域医療機能推進機構若狭高浜病院、広島大学 等

(9) 福祉関係

高浜町社会福祉協議会、公立小浜病院組合、医療法人東山会、社会福祉法人友愛会、社会福祉法人ふくい福祉事業団、社会福祉法人嶺南福祉会、(独)地域医療機能推進機構 等

(10) 交通運輸関係

(公社)福井県バス協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、敦賀海陸運輸(株)、小浜貨物自動車(株) 等

(11) 漁業関係

大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、小浜市漁業協同組合 等

(12) その他

(株)NTTドコモ北陸支社、KDDI(株)北陸総支社、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、

(株)コネクター・ジャパン、(株)サイバーエージェント、(株)AI SHIFT、

北陸地方非常通信協議会、大塚製薬(株)、(株)バロー、福井県民生活協同組合 等

(13) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、関電プラント(株) 等

8 住民参加

○PAZ 159人

避難元		避難先		人数
高浜町	在宅	敦賀市	あいあいプラザ	9人
	外国人	高浜町	(有)かつみソーイング → 高浜小学校	19人
	一般	兵庫県宝塚市	宝塚市総合福祉センター	33人
		兵庫県三田市	三田市立駒ヶ谷運動公園体育館	50人
		兵庫県猪名川町	猪名川町文化体育館	13人
		(孤立地域からの搬送訓練)	関電音海HP (ヘリ) → 海上自衛隊舞鶴基地 → 三田市立駒ヶ谷運動公園体育館	20人
		(孤立地域からの搬送訓練)	日引漁港 (ヘリ) → 和田マリーナ → 三田市立駒ヶ谷運動公園体育館	3人
(孤立地域からの搬送訓練)	小黑飯・難波江 (高機動車) → エルどらんど → 三田市立駒ヶ谷運動公園体育館	12人		

○UPZ 460人

避難元		避難先		人数
高浜町	一般	兵庫県三田市	三田市立駒ヶ谷運動公園体育館	33人
		兵庫県猪名川町	猪名川町文化体育館	7人
		(孤立地域からの搬送訓練)	長井浜海水浴場 (LCAC) → 輸送艦おおすみ	36人
			和田マリーナ (ヘリ) → 輸送艦おおすみ	4人
おおい町	一般	敦賀市	敦賀市立体育館	177人
		(孤立地域からの搬送訓練)	大島漁港 (船舶) → 小浜漁港 → 敦賀市立体育館	12人
小浜市	一般	越前市	越前市万葉中学校	79人
		鯖江市	鯖江市鳥羽小学校	44人
		(孤立地域からの搬送訓練)	泊HP (ヘリ) → 若狭HP	3人
	福祉施設	鯖江市	アクール若狭 → みどり荘	6人
		越前市	やすらぎの郷 → 若越みどりの村	9人
若狭町	一般	越前町	越前町立城崎小学校	47人
		(孤立地域からの搬送訓練)	旧岬小学校 (ヘリ) → 敦賀港鞠山南HP	3人

PAZ・UPZ 総計	619人
------------	------

屋内退避	5,100人
------	--------

参加住民	5,719人
------	--------

9 訓練項目

(1) 住民避難訓練

- ア 県内外の避難先施設への避難
 - 県内避難 448人 (PAZ: 28人、UPZ: 420人)
 - 県外避難 171人 (PAZ: 131人、UPZ: 40人)
- イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難
陸上自衛隊高機動車2台、県バス協会バス34台、自家用車57台
- ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難
 - [空路] 陸上自衛隊ヘリ 1機、海上自衛隊ヘリ 1機、航空自衛隊ヘリ 1機、
県防災ヘリ 1機
 - [海路] 海上自衛隊船舶 2隻、海上保安庁船舶 2隻
- エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継
- オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認

(2) 避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営および受入マニュアル等に基づく避難者受入の実施
- イ 県外への避難における受入訓練の実施
3施設 (宝塚市総合福祉センター (兵庫県宝塚市)、三田市立駒ヶ谷運動公園体育館 (兵庫県三田市)、猪名川町文化体育館 (兵庫県猪名川町))
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認および福井県、兵庫県との連携
- エ 避難者の受付 (避難退域時検査受検の有無の確認も含む)
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく県トラック協会による物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ケ 避難時における避難住民への事故状況等説明の実施

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
- イ 入院患者、福祉施設入所者等の避難先施設への搬送
小浜市 2施設 (アクール若狭、やすらぎの里)
- ウ 在宅の要配慮者の避難先となる福祉避難所への搬送
高浜町: 敦賀市あいあいプラザ
- オ 消防、市町社協、福祉施設、原子力事業者が保有する救急車や福祉車両による搬送
福祉車両 9台
- カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避
- キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- ク 警察による避難車両のパトカー先導

(4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の緊急配布
 - (1) 一時集合場所におけるバス車内での配布
配布場所および配布数 (8箇所、319人)
(エルどらんど、はまかぜ交流センター、おおい町総合町民センター、ふるさと交流センター、里山文

- 化交流センター、西津コミュニティセンター、加斗小学校、野木小学校)
- (2) 自家用車に対するドライブスルー方式の配布
配布場所および配布数 (4 箇所、108 人)
(高浜町保健福祉センター、おおい町総合町民福祉センター、若狭合同庁舎、若狭町役場三方庁舎)
- ウ スクリーニングおよび簡易除染の実施
実施場所および対象数等 (2 箇所、427 人)
(敦賀市総合運動公園、あやべ球場)
自衛隊による車両除染の実施
- エ 発電所内で発生した被ばく患者の原子力災害拠点病院 (福井県立病院、福井大学病院) への搬送※実搬送は福井県立病院のみ
- オ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- カ 広島大学 (高度被ばく医療支援センター) との連携
- (5) 屋内退避訓練
- ア UPZ 住民による自宅等での屋内退避行動 (戸締、情報収集等) の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品 (保険証、常備薬等) の準備
- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施 (ケーブルテレビにおいて啓発番組の放送)
- (6) 複合災害対応訓練
- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁等による住民避難の支援
- (7) 緊急時通信連絡訓練
- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 京都府警への映像伝送システムを利用した画像伝送
- キ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達
- (8) 災害対策本部等運営訓練
- ア 福井県庁、各市町庁舎、高浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
(ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、スマートフォンアプリ等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施
- (9) 原子力防災センター運営訓練
- ア 高浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催 (実施方針の決定等)
- ウ 各機能班の活動

- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 「緊急時モニタリング情報共有システム（ラミス）」を活用した関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（高浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 高浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援【再掲】
- ウ スクリーニング会場における車両除染の実施【再掲】

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
〔実施場所〕
 - 高浜町 2箇所（高浜町日置交差点、高浜町和田ビーチ交差点）
 - 小浜市 1箇所（小浜市岡津交差点）
- イ 福井県警へりくずりゅうによる高浜発電所周辺地域の上空調査
- ウ 道路管理者による道路点検の実施
- エ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- オ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備
- カ 立入制限措置
- キ 警察によるスクリーニング会場周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ 規制庁ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	令和元	2	3	4	5
総合防災訓練	日時	令和元年11月11日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)	令和4年10月8日(土)	令和5年10月7日(土)
	場所	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷	九頭竜川河川敷、勝山市体育館	三国体育館 他
	主催	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市	福井県、勝山市	福井県、坂井市
	参加機関	170	90	100	100	100
	訓練種目	75	45	50	43	48
	想定	奥越地域における大雨および地震による複合災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	津波を含む地震災害
	参加人員	2,000	700	1,050	1,150	1,300
	日時				令和4年10月23日(日)	
	場所				福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域	
	主催				福井県石油コンビナート等防災本部	
石油コンビナート等	参加機関		未開催	未開催	18	
	訓練種目				28	
	想定				地震と津波によるコンビナート災害	
	参加人員				約300	
	日時				令和4年11月4日(金)～6日(日)	令和5年10月20日(金)、21日(土)
	訓練対象施設	令和元年8月30日(金)、31日(土)	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 高浜発電所
	主催	関西電力(株) 美浜発電所	大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	福井県	福井県
	参加機関	福井県	福井県	福井県	福井県	福井県
	訓練種目	100	40	100	150	100
	参加人員	13	10	13		
原子力防災訓練	想定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
	参加人員	8,988	約50	約320	約650	約620

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和5年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	106,722	1,143	74,661	102,325	95.9%
敦 賀 市	29,019	89	2,225	26,232	90.4%
小 浜 市	12,192	112	1,324	8,934	73.3%
大 野 市	11,578	181	6,025	11,091	95.8%
勝 山 市	7,072	117	1,189	6,988	98.8%
鯖 江 市	25,499	160	4,408	25,434	99.7%
あ わ ら 市	10,289	110	4,400	9,758	94.8%
越 前 市	31,295	239	80,337	31,295	100.0%
坂 井 市	32,963	328	4,557	25,302	76.8%
永 平 寺 町	6,378	89	3,621	6,378	100.0%
池 田 町	890	19	128	692	77.8%
南 越 前 町	3,361	72	1,049	3,296	98.1%
越 前 町	7,264	67	1,632	5,770	79.4%
美 浜 町	3,643	22	6,930	2,785	76.4%
高 浜 町	4,278	44	784	3,445	80.5%
お お い 町	3,254	46	2,353	2,353	72.3%
若 狭 町	4,951	88	1,292	4,658	94.1%
合計・ 平均	300,648	2,926	196,915	276,736	92.0%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和5年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和5年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和6年4月1日現在）

〔固定系〕

区 分	局数		設 置 場 所
	多重系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） 八ツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支 部 局	7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合 庁 局	1	1	1 合同庁舎（福井）
ダ ム 管 等 局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榊谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小 計	28	9	
端 末 局	県出先機関	13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市 町	17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部	7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機 関等	19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小 計		56
可搬型地球局		3	
合 計	28	68	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所	
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管	
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎	
	計	12		
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）	
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型	46	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型	38	県出先機関 8 台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
				9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				9 消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		4 防災関係機関：NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井		
		携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型(他機関)	44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計	198		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局	
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
携帯型		10	県庁 1台、防災航空事務所 9台	
小 計		11		
防 災 移 動 局	携帯型	5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	215			
携 帯 局(ヘリ用)		消防用	2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用	1	
ヘ リ サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型	1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型	1	防災ヘリコプター
	計		2	
合 計			238	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和5年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	218,979	18,248	(9局) 2,028
ダ ム 管 等 局	9,035	753	(11局) 68
県 出 先 機 関	4,516	376	(14局) 27
市 町	405	34	(17局) 2.0
消 防 本 部	145	12	(9局) 1.3
国 出 先 機 関	66	5.5	(5局) 1.1
公 共 機 関	43	3.6	(9局) 0.4
原 子 力 発 電 所 等	90	7.5	(10局) 0.8
合 計	233,279	19,440	(84局) 231

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和5年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	206	1,624	920	2,750	705	37	3,492
前年比 (%)	91	130	117	121	108	463	119

[指令種類別]

令和5年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	3,167	27	303	277	0	3,774
前年比 (%)	118	245	151	154	0	122

(3)一斉指令月別通信回数

令和5年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
内容	気警報	8	0	0	0	49	54	36	18	0	4	29	206
	象注意報	156	106	104	110	82	90	199	189	152	180	137	1624
	関情報	93	63	70	24	46	61	127	136	24	67	141	920
	係小計	257	169	174	134	136	200	300	371	275	176	251	307
別	事務連絡	68	45	46	70	57	43	103	39	42	79	70	705
	テスト	0	0	3	1	7	4	0	1	6	0	6	37
種類別	計	325	214	223	205	200	247	343	475	224	330	383	3492
	全県	315	213	216	189	191	226	297	354	211	304	354	3167
	県出先	0	0	0	0	5	5	0	2	4	4	5	27
	市町	10	4	7	9	4	18	53	113	23	11	24	27
別	消防	10	4	7	7	1	14	53	112	4	22	24	277
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	335	221	230	205	201	263	403	581	341	230	354	410	3774

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信用数集計表

令和5年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	1,464	1,529	1,844	1,517	1,657	1,930	1,870	1,657	1,435	1,430	1,351	1,492	19,176
三国支部・坂井合庁	2,081	2,159	2,554	2,420	2,465	2,510	2,218	1,937	1,844	1,985	2,024	1,819	26,016
奥越支部・奥越合庁	1,813	1,652	1,993	2,090	2,244	2,697	2,510	2,222	1,879	2,100	2,010	2,000	25,210
勝山中継局 ^(注1)	140	190	259	220	194	269	278	235	261	259	275	243	2,823
丹南支部・南越合庁	3,589	3,344	3,708	3,401	3,657	3,958	3,024	2,825	3,062	3,156	3,094	2,613	39,431
鯖江丹生支部	780	1,003	1,030	877	981	820	934	767	791	717	747	535	9,982
敦賀支部・敦賀合庁	2,650	2,440	3,048	2,732	2,900	3,035	2,730	2,203	2,172	2,025	1,890	1,802	29,627
小浜支部・若狭合庁	2,836	2,883	3,237	2,928	3,201	3,571	3,329	2,755	2,700	2,654	2,543	2,329	34,966
福井合庁	2,479	2,487	2,922	2,717	2,938	3,395	2,813	2,730	2,290	2,519	2,287	2,171	31,748
原子力センター	234	295	253	225	292	369	342	260	318	324	279	263	3,454
笹生川ダム管	164	109	186	129	116	119	98	71	61	65	69	76	1,263
笹生川堰堤	0	0	0	2	4	14	2	1	3	3	9	2	40
浄土寺川堰堤	0	1	0	10	8	0	0	0	1	3	0	0	23
広野ダム管	188	241	264	245	420	296	216	236	249	192	211	202	2,960
広野堰堤	4	2	11	9	6	17	9	3	6	12	4	8	91
梶谷堰堤	4	2	9	8	10	18	22	17	7	17	13	4	131
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	110	80	50	61	100	136	111	90	58	68	63	56	983
大津呂ダム管	0	5	4	0	27	9	0	7	5	4	4	4	69
河内川堰堤	0	0	1	1	0	10	0	0	0	2	7	0	21
計	18,536	18,422	21,373	19,592	21,220	23,173	20,506	18,016	17,142	17,535	16,880	15,619	228,014

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和5年中

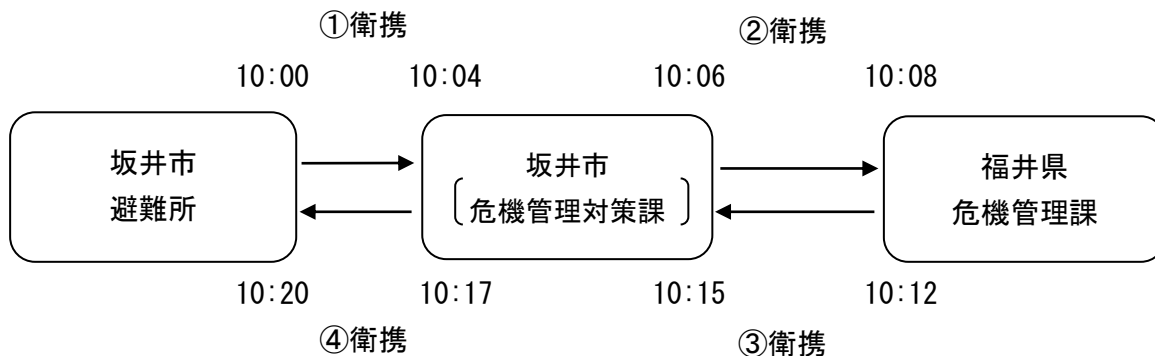
無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	24	福 井 消 防	14	福 井 気 象 台	47
敦 賀 市	19	大 野 消 防	13	鯖 江 自 衛 隊	9
小 浜 市	18	勝 山 消 防	20	舞 鶴 自 衛 隊	4
大 野 市	28	永 平 寺 消 防	13	敦 賀 海 保	4
勝 山 市	26	嶺 北 消 防	17	福 井 海 保	2
鯖 江 市	24	鯖江丹生消防	15	国 出 先 計	66
あ わ ら 市	19	南 越 消 防	12	福 井 駅	2
越 前 市	20	敦賀美方消防	16	N H K 福 井	3
坂 井 市	19	若 狭 消 防	25	福 井 テ レ ビ	3
市 計	197	消 防 計	145	福 井 放 送	3
永 平 寺 町	50	福 井 保 健	20	F M 福 井	3
池 田 町	29	若 狭 保 健	46	日 赤 福 井	2
南 越 前 町	27	二 州 保 健	88	福 井 県 医 師 会	3
越 前 町	19	丹 南 保 健	1,046	福 井 火 力	6
美 浜 町	26	坂 井 保 健	20	福 井 備 蓄	18
若 狭 町	19	奥 越 保 健	30	公 共 機 関 計	43
お お い 町	24	衛 生 環 境 セ ン タ ー	1,290	原 電 敦 賀	11
高 浜 町	14	県 立 病 院	20	関 電 美 浜	10
町 計	208	防 災 航 空 隊	19	関 電 大 飯	9
市 町 計	405	福 井 港 湾	353	関 電 高 浜	7
		敦 賀 港 湾	1,006	原 子 力 機 構 ふ げ ん	6
		福 井 空 港	423	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	10
		坂 井 上 水	51	敦 賀 オ フ サ イ ト	9
		日 野 川 上 水	104	美 浜 オ フ サ イ ト	12
		県 出 先 計	4,516	大 飯 オ フ サ イ ト	7
				高 浜 オ フ サ イ ト	9
				原 子 力 発 電 所 等 計	90
				合 計	5,265

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和5年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和5年10月6日）

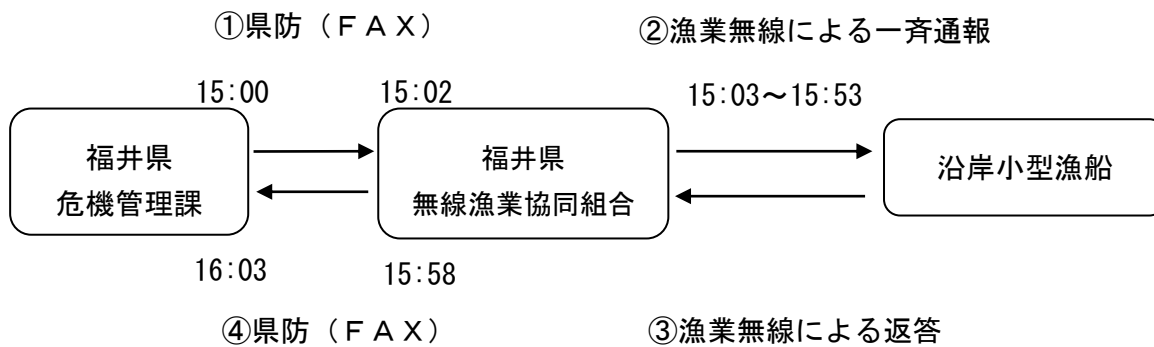
・坂井市役所から福井県あて往復信



(参考)
・衛携：衛星携帯電話

(2) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和5年10月20日）

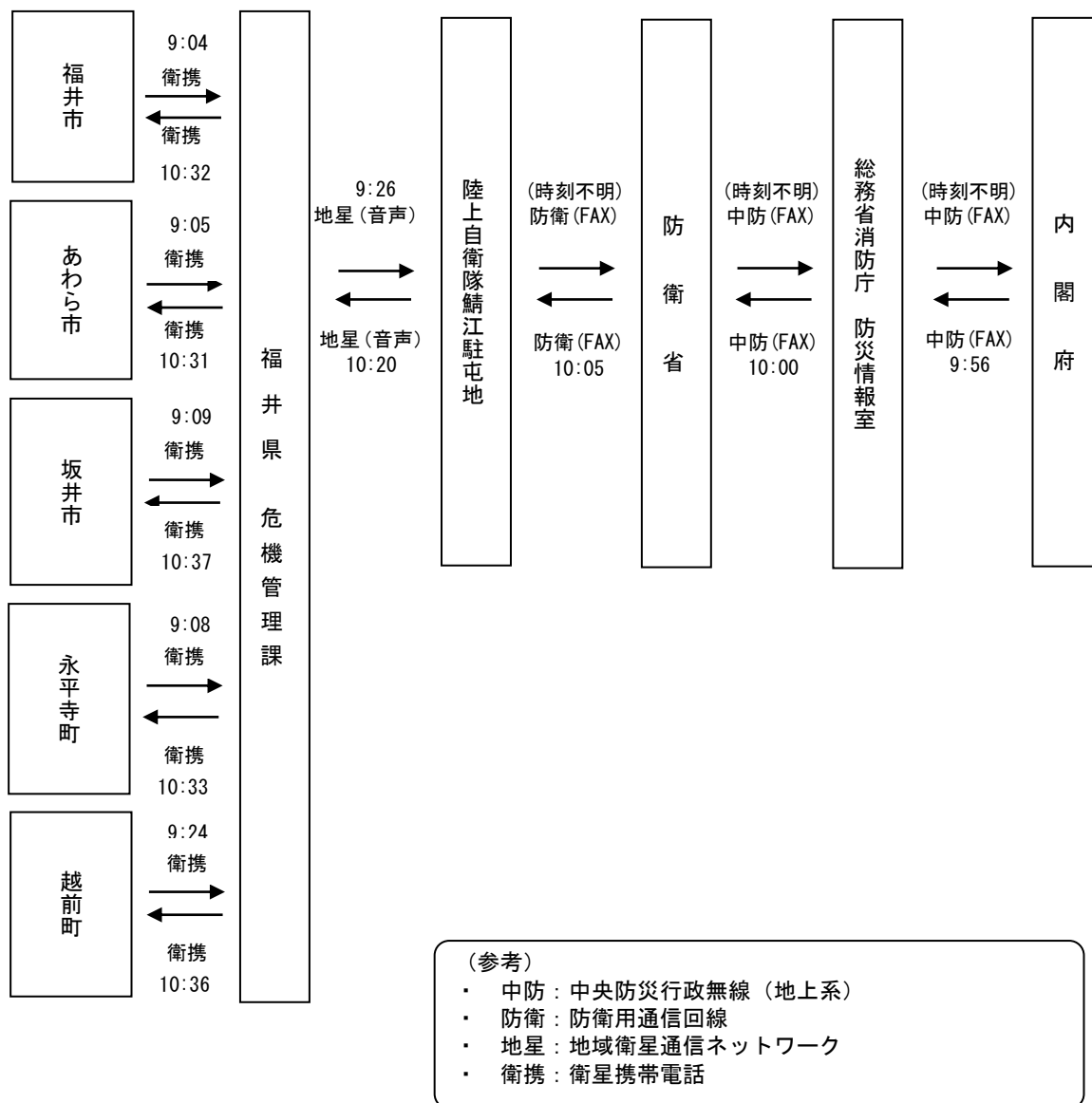
・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信



(参考)
・県防：県防災行政無線（地上系）

(3) 第86回全国非常通信訓練(令和5年11月8日)

- ・嶺北北部地方から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターII)、県庁～陸上自衛隊間は地域衛星通信ネットワーク、陸上自衛隊～防衛省間は防衛用通信回線、防衛省～内閣府間は中央防災無線を使用。

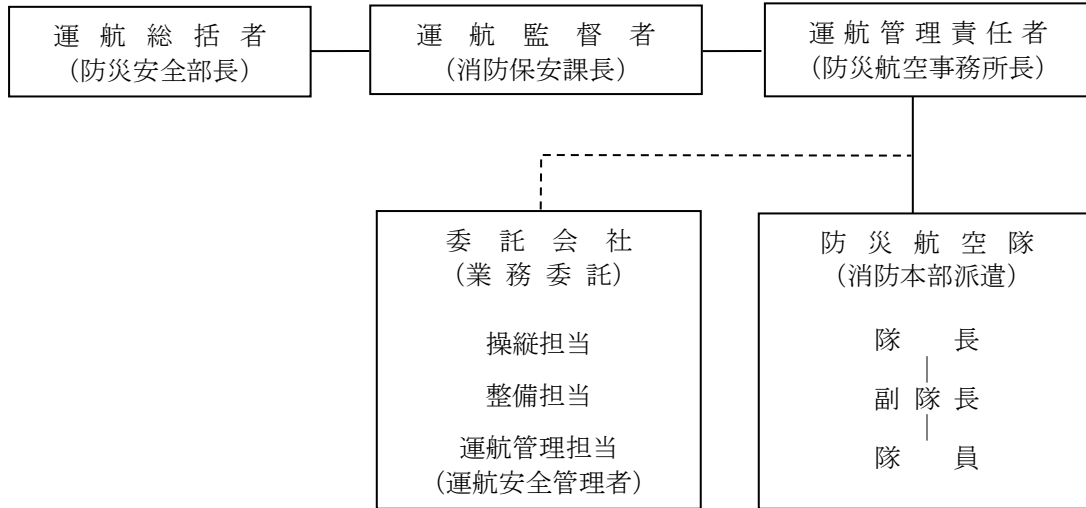


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

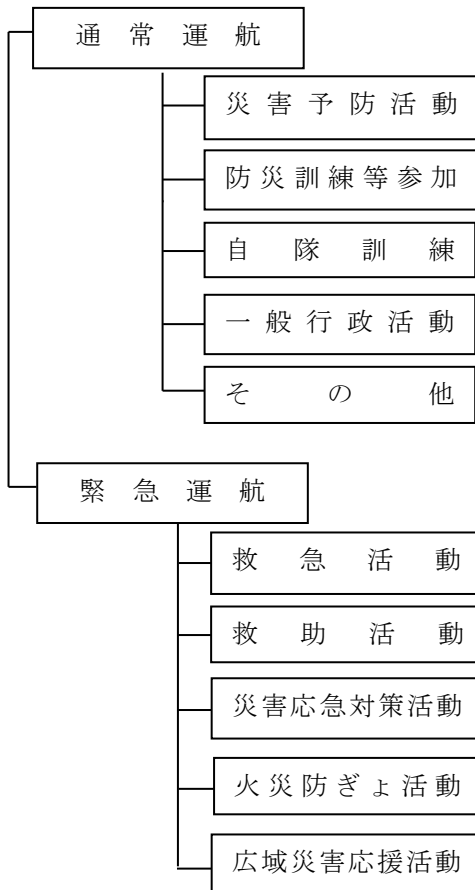
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和6年3月31日現在

区分	緊急運航							通常運航							合計
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害 応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練 参加	災害予防活動 危険箇所 調査	災害予防活動 広報	一般行政	整備	その他	
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46		39 29:10	4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26	
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11		39 27:30	3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52	
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16		33 21:18	3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01	
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21		33 26:36	1 1:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49	
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09		40 25:37		2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19	
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04		40 29:34		2 3:17	9 10:26	2 1:21	273 262:16	
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83 61:31	152 159:41		27 20:22		1 1:26	7 5:06	3 1:34	273 249:40	
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62 38:30	176 188:45		32 22:58			8 5:48	4 1:44	282 257:45	
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91 63:59	167 183:15		25 22:10			11 6:49	4 2:23	298 278:36	
令和2年度	件数 35 時間 16:26	42 23:20	1 1:07	2 1:50	8 8:50	88 51:33	155 179:38		37 31:29			19 9:31	1 0:51	300 273:02	
令和3年度	件数 27 時間 10:26	43 30:43	5 3:46	5 5:45	24 14:19	104 64:59	158 172:31		7 5:43			9 7:14	4 2:07	313 281:18	
令和4年度	件数 29 時間 12:14	36 19:26	6 4:00	3 4:15	40 30:16	114 70:11	125 129:00		15 9:47			17 6:26	4 2:30	298 235:09	
令和5年度	件数 31 時間 9:25	57 38:38		3 2:50	13 8:31	104 59:24	148 148:10		21 14:51			17 6:41	1 1:00	315 249:08	

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、航空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある